

寄贈図書リスト

宇宙の謎, ポール・マーティン, A4判変形, 342頁,  
4,800円+税, 岩波書店

誰でも楽しめる星の歳時記, 浅田英夫, A5判, 144  
頁, 1,800円+税, 地人書館  
天文学辞典, 岡村定矩代表編者, A5判, 546頁,  
6,500円+税, 日本評論社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛。

なお, 原稿も必ず Faxで 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

静岡大学教育学部長 宛

(2) 静岡大学教育学部理科教育講座 礎 寛

Tel: 054-238-4620

e-mail: [edhikar@ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:edhikar@ipc.shizuoka.ac.jp)

10. 公募の詳細は <http://www.ed.shizuoka.ac.jp/289/>  
別紙書式は <http://www.ed.shizuoka.ac.jp/434/>  
参照。

封筒の表に「物理学担当教員応募書類在中」と朱書し簡易書留で送付。

書類不返却。

静岡大学教育学部物理学担当教員

1. 講師又は助教・1名
2. (1) 理科教育講座  
(2) 静岡県静岡市
3. 実験物理 (天文学・惑星科学・地球物理学・気象学等の分野も含む)。
4. 学部・大学院の物理学関係 (地学分野も含む) の講義・実験。  
※卒業研究・修士課程で実験指導可能な方。
5. (1) 2013年4月1日  
(2) なし
6. 大学院博士課程修了 (見込) 又は同等の学力を有する方
7. ○履歴書 (市販の用紙可, E-mail 付記, 写真貼付) ○業績リスト (別紙書式) ○主要論文の別刷5編以内 (コピー可) ○研究業績概要 (A4, 1枚以内) ○「今後の研究の抱負」と「教育学部における教育の抱負」 (A4, 各1枚程度) ○大学の卒業証明書と成績証明書, および大学院の修了証明書又は在学証明書と成績証明書 ○照会可能者2名の氏名, 連絡先 (住所, Tel, E-mail)
8. 2012年9月14日 (金) 必着
9. (1) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

首都大学東京大学院理工学研究科教員

1. 准教授 1名
2. (1) 理工学研究科物理学専攻  
(2) 南大沢キャンパス (〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1)
3. X線天文学, 高エネルギー宇宙物理の観測的研究. 宇宙物理実験研究室に所属し協力して研究を行う
4. 力学, 電磁気学, 宇宙物理学などの学部科目, および大学院講義科目を担当
5. (1) 平成25年4月1日  
(2) 5年 (更新あり. 准教授としての任用期間は15年以内)  
\*内部昇任制度あり  
\*准教授として10年の任期を経て, 審査により, 更新の回数制限がない任用となる制度があります  
\*ただし, 65歳となった年度の末日をもって退職となります
6. 大学院博士後期課程の教育および研究指導を担当できる方
7. ①履歴書 (様式1) ②研究業績リスト (様式不問) ③主要な研究論文の別刷・コピー5編以内

各1部 ④研究業績の概要(研究, 教育・指導実績, 外部資金, 社会貢献を含む) 2,000字程度(様式不問) ⑤採用後の活動計画(研究, 教育, 社会貢献を含む) 2,000字程度(様式不問) ⑥応募者について照会可能な有識者3名の氏名・連絡先  
\*選考の過程で, 推薦書を提出していただく場合があります。

※所定様式(様式1) および記入要領は下記ホームページからダウンロードすることが可能です  
[http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/tmu.html](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html)

8. 平成24年10月1日(月)(必着)

9. (1) 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

公立大学法人首都大学東京 総務部人事課  
人事制度係

(2) 公募全般

公立大学法人首都大学東京 総務部人事課人  
事制度係

Tel: 042-677-1111 (内) 1028

e-mail: kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp

専門分野

首都大学東京理工学研究科物理学専攻長

政井邦昭

Tel: 042-677-2502 (直通)

e-mail: info-apxa@phys.se.tmu.ac.jp

物理学専攻サイト <http://www.phys.se.tmu.ac.jp/>

10. ・簡易書留で一括郵送してください(宅配便可)

・封筒等に「教員公募書類(物理・宇宙実験)在中」と朱書きしてください

・応募書類は返却しません。あらかじめご了承ください

※上記取扱いのため, 万一高価な書類等を送付される場合は, その点ご留意の上ご応募ください

※電子メールによるご応募は受け付けておりません

11. 1次選考: 書類選考

2次選考: 1次選考通過者に対して, 11月下旬に面接を行います。なお, 時間・場所等の詳細は, 別途1次選考通過者にご連絡します

※2次選考にあたり必要となる旅費・滞在費等は応募者の負担となります。また, 可否は該当部局から通知されます。本学は, ダイバーシティに配慮しており, 特に女性の積極的な応募を歓迎します。本学のダイバーシティへの取組については, 以下をご参照ください。(ダイバーシティ推進室) <http://www.comp.tmu.ac.jp/diversity/index.html>

## 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 教授 1名
2. (1) 大学院理学系研究科天文学専攻(広域理学講座)  
(2) 東京都文京区本郷7-3-1
3. 系外惑星科学
4. 東京大学理学系研究科では, 天文学専攻を中心に, 地球惑星科学専攻, 物理学専攻, 附属ビッグバン宇宙国際研究センター, 附属天文学教育研究センターなどと緊密に連携しつつ, 大学院および学部教育に熱意をもって取り組みながら, 太陽系外惑星に関する研究(観測, 実験, 理論いずれも含む)で世界第一線の研究をリードできる方を求めます。
5. (1) 2013年4月1日あるいはこれ以降の出来るだけ早い時期  
(2) 任期なし
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書(写真貼付), (2) 研究歴(これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リスト, (4) 主要論文別刷(3編以内), (5) 着任後の研究計画と抱負, (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先(e-mailアドレス)
8. 2012年9月28日(金) 必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻  
専攻長 柴橋博資  
(2) 同上 phone: 03-5841-4256  
e-mail: shibahashi@astron.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒の表に「人事応募書類」と朱書き, 直接持参するか, 簡易書留で郵送して下さい。
11. 本研究科では, 男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記URLの理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。  
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html>

## 東京大学 理学系研究科 物理学専攻教員

1. 准教授1名
2. (1) 大学院理学系研究科物理学専攻  
(2) 東京都文京区本郷7-3-1
3. 重力波検出を中心とする重力実験
4. 理学部物理学科および大学院理学系研究科物理学専攻の教育を担当するとともに, 関連する研究を推進していただきます。
5. (1) 2013年4月1日以降のなるべく早い時期

- (2) 常勤
6. 特になし
7. (1) 履歴書(写真貼付)
- (2) 業績リスト
- (3) 研究業績の概要
- (4) 研究計画ならびに教育に関する抱負
- (5) 主要論文別刷(コピー可)5編(各5部)
8. 2012年10月1日(月)必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科 物理学専攻  
宮下精二
- (2) 物理学教室事務室 Tel: 03-5841-4242
10. 封筒に「重力実験准教授応募書類在中」と朱書き、簡易書留で送付のこと。提出書類は返却しません。
11. 本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記URLの理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。  
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html>

## 賞の推薦

### 2012年度「朝日賞」候補者の推薦について

朝日新聞文化事業本部より標記の依頼がきております。推薦票は天文学会事務所にあります。また、下記URLよりダウンロードできます。キーワード(パスワード)は下記事務局までお問い合わせください。

1. 候補者の対象: 人文や自然科学など、わが国のさまざまな分野で傑出した業績を上げ、文化・社会の発展向上に多大な貢献をされた個人または団体。
2. 締 切: 2012年8月31日(金)「朝日賞」係必着
3. 発 表: 2013年元旦の朝日新聞紙上

問合せおよび送付先:

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
朝日新聞社 CSR推進部「朝日賞」事務局  
Tel: 03-5540-7453 Fax: 03-3541-8999  
URL: <http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/suisen>

## 研究会・集案案内

### 京都大学花山天文台一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台では、来たる10月27日に一般

公開を行います。花山・飛騨天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお申し込み下さい。

(入場無料)

日 時: 2012年10月27日(土) 13時~20時30分

内 容: 望遠鏡による天体観望(昼: 太陽, 夜: 月など)、講演会。

飛騨天文台で観測中の太陽画像の紹介。

4次元デジタル宇宙シアター(国立天文台開発のミタカに、京大発のコンテンツを追加し、3D宇宙ヘラライブ解説でご案内)。

太陽黒点スケッチや工作などの各種体験コーナー。

交通機関: 京都市営地下鉄東西線蹴上駅(1番出口)よりシャトルバス(300円(往復))を運行します。自家用車でもお越し頂けますが、駐車場の数に限りがありますので、なるべくシャトルバスをご利用下さい。

申込方法: インターネットでの事前申し込みが必要です。花山天文台のホームページ

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

申込受付期間: 9月24日(月) 11:00~

[定員に達し次第締切]

定 員: 先着500名

45cm屈折望遠鏡による観望は抽選100名(対象年齢: 小学生以上)

抽選結果は10月10日ごろに返信します。

問合せ: Tel: 075-581-1235

e-mail: [kwasan2012@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:kwasan2012@kwasan.kyoto-u.ac.jp)

e-mailの場合、件名を「10/27一般公開」として下さい。

主 催: 京都大学大学院理学研究科附属天文台、NPO法人花山星空ネットワーク

後 援: 京都府教育委員会、京都市教育委員会

### 京都大学グローバルCOEプログラム

#### 「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」

#### 第5回 市民講座「宇宙と物質の謎に迫る」

2008年度からスタートしたグローバルCOEプログラム「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」では、物理学における最先端の成果を広く一般市民の方々に知っていただくため、第5回市民講座を開催します。これは21世紀COEプログラム「物理学の多様性と普遍性の探究拠点」の主催で2007年まで5回にわたり行われてきた市民講座の後を引き継ぐもので、京都大学の三人の先生方に最新の話題についてわかりやすく

解説していただきます。なお、GCOEの企画としては今回が最後となります。

日 時：2012年10月14日(日) 午後1時～5時半  
会 場：京都大学百周年時計台記念館(大ホール)

#### 講演プログラム

1. 早川尚男(はやかわ ひさお)(京都大学基礎物理学研究所 教授)  
「熱力学の世界—蒸気機関から量子ポンプまで—」
2. 永江知文(ながえ ともふみ)(京都大学理学部物理学第二教室 教授)  
「クォークの世界を探る」
3. 鶴 剛(つる たけし)(京都大学理学部物理学第二教室 教授)

「灼熱宇宙の謎—X線天文衛星による宇宙観測—」  
講演会終了後、午後5時半から6時半まで、講師の方々との懇話会(質疑応答)を開く予定です。

対 象：中高生以上

受講料：無料

定 員：500名(懇話会は約30名。申し込み多数の場合は、申し込みハガキ又は電子メール先着順。)

申込方法：往復ハガキまたは電子メールに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、懇話会への出席希望の有無、をご記入の上、下記宛にお送り下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科 物理学教室内  
グローバルCOE事務局  
市民講座「宇宙と物質の謎に迫る」係  
e-mail: gcoe-shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp

申込締切：10月10日(水) 必着

交 通：会場の京都大学時計台記念館には公共交通機関でお越し下さい。(バス停：京大正門前より徒歩五分)

講演に関する問い合わせ先：

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科 物理学教室内  
グローバルCOE事務局  
Tel: 075-753-3758 (電話・FAXによる申し込み受付は行っておりません)

主 催：京都大学グローバルCOE「普遍性と創発性から紡ぐ次世代物理学」

<http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/gcoe/>

共 催：最先端科学の体験型学習講座

後 援：京都新聞社、物理教育学会、天文教育普及研究会、京都市教育委員会、京都府教育委員会

世話人：太田耕司(京大理宇宙物理学教室)、国友浩(京大基礎物理学研究所)、市川温子(京

大理物理学第二教室)、柴田一成(京大理附属天文台)、高西陽一(京大理物理学第一教室)、鶴 剛(京大理物理学第二教室)、九後太一(基礎物理学研究所)

#### 会務案内

#### 【2012年度秋季通常総会開催のお知らせ】

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 岡村定矩

**— 綴じ込みの返信用葉書で9月13日(木)までに到着するようご投票を！ —**

下記のとおり2012年度秋季通常総会を開催いたしますので、ご出席くださるようご案内申し上げます。総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の5分の1以上の出席が必要です(定款第42条)。欠席される場合には、下記の議案をよくお読みのうえ、次の(1)または(2)のどちらかの対応をしてください。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。

「葉書」は、9月13日(木)までに天文学会事務局に到着するように投函してください。「葉書」には切手を貼る必要はありません。

#### ○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出してください。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んでください。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務局宛にお送りください。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えませんが、

- 1) 会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 2) 氏名を自署していないもの。
- 3) 投票権のない者からの投票(正会員以外の者)。
- 4) 二重投票。

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成, 反対の意思表示をせず, 意見だけを書いた票.
- 2) 白票.

委任状については, 次の場合に無効となります.

- 1) 委任正会員の氏名, 自署, 捺印のいずれかを欠くもの.
- 2) 委任正会員の会員番号, 住所 (または勤務先) の両方を欠くもの.
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの.
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合.
- 5) 被委任正会員として, 単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの.

#### ○2012年度秋季通常総会

日 時: 2012年9月20日(木)

総会出席者確認: 15:30~16:00

総会開始: 16:00~

場 所: B会場

注 意: 総会出席確認作業の時間中に会場へ入場してください. 確認された方には表決のときに必要な札をお渡します.

○議案と報告 (本誌577頁から589頁まで参照)

#### 議 案:

- 第1号議案 2013年度事業計画書(案)の承認
- 第2号議案 2013年度収支予算書(案)の承認
- 第3号議案 会長・副会長・理事・監事選考細則(案)の承認
- 第4号議案 役員の報酬および費用に関する細則(案)の承認
- 第5号議案 日本天文学会委員会等に関する細則(案)の承認
- 第6号議案 会費に関する細則の修正案の承認
- 第7号議案 評議員選挙施行細則の廃止の承認
- 第8号議案 理事長選挙施行細則の廃止の承認
- 第9号議案 天体発見賞に関する細則を日本天文学会天体発見賞内規へ変更することの承認

#### 報 告:

1. 代議員選挙結果
2. 会長候補者選挙結果
3. 新役員, 委員候補者
4. 公益法人への移行作業について
5. 日本学術会議報告
6. 宇宙開発利用の新体制について
7. IAU報告
8. その他

【第1号議案】

公益社団法人 日本天文学会 2013年度  
(2013年1月1日～2014年3月31日)  
事業計画書(案)

特例社団法人日本天文学会は、2013年度より新たに公益社団法人日本天文学会として発足する予定となっている。これに伴い、事業年度が4月開始、翌年3月末終了に変更される。そのため、2013年の事業年度は通常とは異なり、2013年1月1日開始、2014年3月31日終了と通常よりも3ヶ月長くなる。出版物の刊行数、年会や理事会、代議員総会の開催回数など各種事業の量が通常時より多くなる。

1. 出版物の刊行（新定款第2章第5条2項に該当する事業）

1) 欧文研究報告

第65巻1号～第66巻1号，増刊1号，A4版，発行部数各1,250，年間1,950ページを予定する。

2) 天文月報

第106巻1号～第107巻3号，月刊B5版，発行部数各3,300，毎号64ページを予定する。

3) 年会講演予稿集

春・秋季年会の講演予稿集を計3冊，発行部数各850を予定する。

4) ジュニアセッション予稿集

春季年会（2回）時のジュニアセッション予稿集2冊，発行部数1,000を予定する。

2. 年会の開催（新定款第2章第5条1項に該当する事業）

天文学分野に関する研究活動の発表の場である年会を春季2回と秋季1回開催する。

1) 春季年会：2013年3月20日（水）～23日（土），埼玉大学（埼玉県さいたま市，開催地理事：田代 信）で行われる。

ジュニアセッション，天文教育フォーラム，公開講演会も併せて開催する。

2) 秋季年会：2013年9月10日（火）～12日（木），東北大学（宮城県仙台市，開催地理事：山田亨）で行われる。

ジュニアセッション（ポスターのみ），天文教育フォーラム，公開講演会も併せて開催する。

3) 春季年会：2014年3月19日（水）～22日（土），国際基督教大学（東京都三鷹市，開催地理事：石丸友里）で行われる。

ジュニアセッション，天文教育フォーラム，公開講演会も併せて開催する。

3. 代議員総会，理事会，会員全体集会，監査（新定款第6～8章第35～56条に該当する事業）

1) 代議員総会

事業計画・予算案/事業報告・決算報告などの重要事項を議決する代議員総会を，1月，6月および春・秋季年会中に計6回開催する。代議員総会は会員の投票による選挙（2013年に半数改選選挙）で選任された35名の代議員（任期4年で半数の17～18名ずつ2年ごとに改選）から構成される。

2) 理事会

本会の活動に関する諸問題の報告・議決を行い，事業遂行・方針決定など組織の中心的な役割を担う。1月，6月および春・秋季年会中に計7回開催する。理事会は，16名の理事（会長，副会長2名，庶務理事2名，会計理事2名，PASJ理事，月報理事，年会実行理事，天文教育理事，年会開催地理事5名：各理事は任期2年の第1年目に当たる）から構成される，監事も出席する。

3) 会員全体集会

本会の行っている事業，会計などについての情報を会員に広く伝えるとともに，会員相互の情報共有を図ることを目的とする会員全体集会を春・秋季年会中に計3回開催する。

4) 監査

2名の監事（任期2年の第2年目に当たる）が，年度初めの1月に，前年度の本会の財産状況と業務執行状況の報告（決算報告と事業報告）が適切かどうかの監査を行い，代議員総会と3月の春季会員全体集会でその結果を報告する。

4. 各委員会等（「日本天文学会委員会等に関する共通内規」に準拠する）

本年度は16の委員会等を置き，構成メンバーにより各種活動を行う。任期2年の第1年目に当たる。

1) 欧文研究報告編集顧問

2) 欧文研究報告編集委員会

3) 天文月報編集委員会

4) 年会実行委員会

5) 天文教育委員会

6) 選挙管理委員会

7) 林 忠四郎賞選考委員会（欧文研究報告論文賞の選考も兼ねる）

8) 研究奨励賞選考委員会

- 9) 天体発見賞選考委員会（天文功労賞の選考も兼ねる）
- 10) 内地留学奨学金選考委員会
- 11) 早川幸男基金選考委員会
- 12) ネットワーク委員会
- 13) 天文教材委員会
- 14) ジュニアセッション実行委員会
- 15) 男女共同参画委員会
- 16) 衛星設計コンテスト推進委員会
5. 日本天文学会各賞の授与（新定款第2章第5条7項に該当する事業）
  - 1) 天体発見賞・天体発見功労賞  
新星，超新星，彗星など新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。
  - 2) 日本天文学会研究奨励賞  
特に顕著な研究成果を挙げた35歳以下の若手研究者（3名以内）に，研究奨励賞を授与する。
  - 3) 日本天文学会 林 忠四郎賞  
天文学の分野において，独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究者に対して林 忠四郎賞を授与する（1件）。
  - 4) 日本天文学会欧文研究報告論文賞  
日本天文学会欧文研究報告に掲載された論文の中から，特に優れた論文の筆者に対して欧文研究報告論文賞を授与する（2編以内）。
  - 5) 日本天文学会天文功労賞  
天体観測活動等によって，天文学の進歩および普及への顕著な寄与をした者に対して授与する（長期的業績1名，短期的業績若干名）。
6. 助成制度（新定款第2章第5条5，7，9項に該当する事業）
  - 1) 内地留学奨学金により，主にアマチュア天文研究者が日本国内の研究機関で短期間の研究をおこなうための経費を補助する。2012年度内に選考し若干名に奨学金を支給する。
  - 2) 早川幸男基金により，年4回の申請受付を行い，若手天文研究者の海外に於ける観測，国際共同研究，あるいは研究発表のための渡航費または滞在費の援助を行う。
  - 3) 賛助会員会費を用いて（学術交流費），大学院生等の年会（春秋）発表者の旅費補助をする。
7. 後援事業等（新定款第2章第5条8項に該当する事業）  
他の学術団体などの天文関係諸企画に対して，後援・協賛などを行う。
8. 各賞への候補者の推薦（新定款第2章第5条7項に該当の事業）  
天文学会各賞以外の民間財団などからの，研究助成および天文学に関連した賞の推薦に依頼に対して候補者を推薦する。
9. 全国同時七夕講演会の開催（新定款第2章第5条4項に該当する事業）  
全国同時七夕講演会の開催（6年目）を開催する。
10. 衛星設計コンテスト（新定款第2章第5条5，6項に該当の事業）  
（財）日本宇宙フォーラム等と共催して実行する衛星設計コンテストを推進するための活動を行う。
11. 事務所活動（新定款第1章第2条に該当する活動）  
日本天文学会事務所（東京都三鷹市大沢，国立天文台内）において，事務長を含む常勤職員2名と約十名の非常勤職員が，本会の事業に関する実際的な業務（会員管理業務，天文月報・欧文報告の編集作業，年会の準備運営事務など）を行う。
12. 代議員選挙（新定款第5章第29条に該当する活動）  
2014～2017年度の代議員を選出する代議員選挙を行う。

平成25年度予算案については、公益法人化にあわせて会計基準が変更になること、および15カ月予算を組んでいることで、従来とフォーマットおよび内容が大きく異なります。

585頁に説明がありますのでご参照願います。

## 【第2号議案】

## 日本天文学会2013年度収支予算書（案）

2013年1月1日から2014年3月31日まで

《公益目的事業会計》

(単位: 円)

科 目	予算額	前年度予算額*	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
<b>[基本財産運用益]</b>	<b>62,500</b>	<b>50,000</b>	<b>12,500</b>
基本財産運用受取利息	62,500	50,000	12,500
<b>[特定資産運用益]</b>	<b>179,375</b>	<b>150,500</b>	<b>28,875</b>
退職給与引当預金受取利息	625	500	125
減価償却引当預金受取利息	15,000	12,000	3,000
内地留学奨学金積立資産受取利息	12,500	10,000	2,500
研究奨励賞積立資産受取利息	1,250	1,000	250
早川幸男基金積立資産受取利息	125,000	105,000	20,000
林忠四郎賞積立資産受取利息	25,000	20,000	5,000
創立100周年記念出版事業積立資産受取利息	0	2,000	△ 2,000
<b>[受取会費]</b>	<b>26,256,875</b>	<b>21,299,500</b>	<b>4,957,375</b>
正会員受取会費	15,592,500	12,474,000	3,118,500
学生会員受取会費	2,933,125	2,346,500	586,625
準会員受取会費	6,030,000	4,824,000	1,206,000
団体会員受取会費	231,250	185,000	46,250
賛助会員受取会費	1,470,000	1,470,000	0
<b>[事業収益]</b>	<b>41,738,150</b>	<b>28,856,000</b>	<b>12,882,150</b>
購読料収益	8,030,500	4,159,500	3,871,000
掲載料収益	13,290,900	10,143,000	3,147,900
別刷代収益	1,723,750	1,537,500	186,250
論文アクセス制限解除収益	3,024,000	2,160,000	864,000
広告料収益	2,700,000	2,100,000	600,000
予稿集頒布収益	2,364,000	1,576,000	788,000
年会登録料収益	9,750,000	6,500,000	3,250,000
雑収益	375,000	250,000	125,000
印税収益	230,000	230,000	0
普及物品頒布収益	250,000	200,000	50,000
<b>[受取補助金等]</b>	<b>7,000,000</b>	<b>8,700,000</b>	<b>△ 1,700,000</b>
受取国庫補助金	7,000,000	8,300,000	△ 1,300,000
刊行物受取補助金	7,000,000	7,300,000	△ 300,000
公開講演会受取補助金	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取地方公共団体補助金	0	400,000	△ 400,000
年会受取補助金	0	400,000	△ 400,000
<b>[受取寄付金]</b>	<b>1,100,000</b>	<b>1,080,000</b>	<b>20,000</b>
受取寄付金	1,100,000	1,080,000	20,000
<b>[雑収益]</b>	<b>3,500</b>	<b>1,000</b>	<b>2,500</b>
受取利息	3,500	1,000	2,500
<b>経常収益計</b>	<b>76,340,400</b>	<b>60,137,000</b>	<b>16,203,400</b>

(2) 経常費用			
<b>[事業費]</b>	<b>97,038,284</b>	<b>73,964,245</b>	<b>23,074,039</b>
給与手当	15,982,500	12,950,000	3,032,500
アルバイト諸経費	2,750,000	1,750,000	1,000,000
退職給付費用	299,772	257,520	42,252
法定福利費	843,750	675,000	168,750
旅費交通費	2,220,000	1,360,000	860,000
通信運搬費	6,952,000	5,540,000	1,412,000
減価償却費	75,000	60,000	15,000
消耗什器備品費	300,000	240,000	60,000
消耗品費	1,905,000	1,480,000	425,000
直接印刷費	30,917,400	24,929,850	5,987,550
別刷印刷費	656,562	618,125	38,437
予稿集印刷費	3,450,000	2,300,000	1,150,000
光熱水料費	187,500	150,000	37,500
賃借料（家賃・その他）	1,375,000	1,100,000	275,000
保険料	7,500	7,500	0
謝金	8,528,300	6,537,250	1,991,050
租税公課	312,500	250,000	62,500
年会会場費	4,200,000	2,375,000	1,825,000
保育室運営経費	750,000	500,000	250,000
ジュニアセッション経費	1,180,000	630,000	550,000
天体発見賞等経費	1,200,000	900,000	300,000
公開講演会経費	2,286,000	1,855,000	431,000
普及物品制作費	70,000	70,000	0
衛星設計コンテスト経費	60,000	60,000	0
天文教育フォーラム経費	480,000	370,000	110,000
講師派遣プロジェクト経費	400,000	150,000	250,000
広報活動経費	500,000	850,000	△ 350,000
男女共同参画事業経費	50,000	0	50,000
学術交流費経費	2,197,500	1,465,000	732,500
内地留学奨励金経費	250,000	250,000	0
研究奨励賞経費	1,100,000	300,000	800,000
早川幸男基金経費	3,000,000	2,700,000	300,000
林忠四郎賞経費	1,300,000	300,000	1,000,000
雑費	1,252,000	984,000	268,000
<b>経常費用計</b>	<b>97,038,284</b>	<b>73,964,245</b>	<b>23,074,039</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 20,697,884</b>	<b>△ 13,827,245</b>	<b>△ 6,870,639</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 20,697,884</b>	<b>△ 13,827,245</b>	<b>△ 6,870,639</b>

※前年度予算額は前年度の収支予算書を公益法人会計基準に基づいて作成した損益ベースの予算書から転記した参考値です。

**日本天文学会 2013 年度収支予算書(案)**  
2013 年 1 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日まで

《法人会計》

(単位: 円)

科 目	予算額	前年度予算額*	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
<b>[特定資産運用益]</b>	<b>15,625</b>	<b>12,500</b>	<b>3,125</b>
退職給与引当預金受取利息	625	500	125
減価償却引当預金受取利息	15,000	12,000	3,000
<b>[受取会費]</b>	<b>24,786,875</b>	<b>19,829,500</b>	<b>4,957,375</b>
正会員受取会費	15,592,500	12,474,000	3,118,500
学生会員受取会費	2,933,125	2,346,500	586,625
準会員受取会費	6,030,000	4,824,000	1,206,000
団体会員受取会費	231,250	185,000	46,250
<b>[雑収益]</b>	<b>150,000</b>	<b>470,000</b>	<b>△ 320,000</b>
受取利息	25,000	20,000	5,000
受取事務手数料	0	350,000	△ 350,000
雑収益	125,000	100,000	25,000
<b>経常収益計</b>	<b>24,952,500</b>	<b>20,312,000</b>	<b>4,640,500</b>
(2) 経常費用			
<b>[管理費]</b>	<b>13,244,848</b>	<b>10,724,180</b>	<b>2,520,668</b>
給与手当	5,312,500	4,250,000	1,062,500
退職給付費用	199,848	171,680	28,168
法定福利費	843,750	675,000	168,750
会議費	312,500	250,000	62,500
福利厚生費	20,000	0	20,000
旅費交通費	1,000,000	500,000	500,000
通信運搬費	360,000	360,000	0
減価償却費	50,000	40,000	10,000
消耗什器備品費	200,000	160,000	40,000
消耗品費	350,000	280,000	70,000
修繕費	30,000	30,000	0
印刷製本費	1,500,000	1,500,000	0
書籍購入費	6,250	5,000	1,250
光熱水料費	187,500	150,000	37,500
賃借料(家賃・その他)	1,375,000	1,100,000	275,000
保険料	7,500	7,500	0
謝金	250,000	250,000	0
租税公課	312,500	250,000	62,500
支払負担金	15,000	15,000	0
諸手数料	537,500	430,000	107,500
徴収不能額	125,000	100,000	25,000
雑費	250,000	200,000	50,000
<b>経常費用計</b>	<b>13,244,848</b>	<b>10,724,180</b>	<b>2,520,668</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>11,707,652</b>	<b>9,587,820</b>	<b>2,119,832</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>11,707,652</b>	<b>9,587,820</b>	<b>2,119,832</b>

※前年度予算額は前年度の収支予算書を公益法人会計基準に基づいて作成した損益ベースの予算書から転記した参考値です。

## 日本天文学会 2013年度正味財産増減予算書(案)

2013年1月1日～2014年3月31日

(単位: 円)

	公益目的事業会計		法人会計	合 計
	一般事業	助成事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
<b>[基本財産運用益]</b>	<b>62,500</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>62,500</b>
基本財産受取利息	62,500	0	0	62,500
<b>[特定資産運用益]</b>	<b>15,625</b>	<b>163,750</b>	<b>15,625</b>	<b>195,000</b>
退職給与引当預金受取利息	625	0	625	1,250
減価償却引当預金受取利息	15,000	0	15,000	30,000
内地留学奨学金積立資産受取利息	0	12,500	0	12,500
研究奨励賞積立積立資産受取利息	0	1,250	0	1,250
早川幸男基金積立資産受取利息	0	125,000	0	125,000
林忠四郎賞積立資産受取利息	0	25,000	0	25,000
<b>[受取会費]</b>	<b>24,786,875</b>	<b>1,470,000</b>	<b>24,786,875</b>	<b>51,043,750</b>
正会員受取会費	15,592,500	0	15,592,500	31,185,000
学生会員受取会費	2,933,125	0	2,933,125	5,866,250
準会員受取会費	6,030,000	0	6,030,000	12,060,000
団体会員受取会費	231,250	0	231,250	462,500
賛助会員受取会費	0	1,470,000	0	1,470,000
<b>[事業収益]</b>	<b>41,738,150</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>41,738,150</b>
購読料収益	8,030,500	0	0	8,030,500
掲載料収益	13,290,900	0	0	13,290,900
別刷代収益	1,723,750	0	0	1,723,750
論文アクセス制限解除収入	3,024,000	0	0	3,024,000
広告料収益	2,700,000	0	0	2,700,000
予稿集頒布収益	2,364,000	0	0	2,364,000
年会登録料収益	9,750,000	0	0	9,750,000
雑収益	375,000	0	0	375,000
印税収益	230,000	0	0	230,000
普及物品頒布収益	250,000	0	0	250,000
<b>[受取補助金等]</b>	<b>7,000,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,000,000</b>
受取国庫補助金	7,000,000	0	0	7,000,000
刊行物受取補助金	7,000,000	0	0	7,000,000
<b>[受取寄付金]</b>	<b>100,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,100,000</b>
受取寄付金	100,000	1,000,000	0	1,100,000
<b>[雑収益]</b>	<b>2,500</b>	<b>1,000</b>	<b>150,000</b>	<b>153,500</b>
受取利息	2,500	1,000	25,000	28,500
雑収益	0	0	125,000	125,000
<b>[経常収益計]</b>	<b>73,705,650</b>	<b>2,634,750</b>	<b>24,952,500</b>	<b>101,292,900</b>
(2) 経常費用				
<b>[事業費]</b>	<b>88,898,784</b>	<b>8,139,500</b>	<b>0</b>	<b>97,038,284</b>
給与手当	15,982,500	0	0	15,982,500
アルバイト諸経費	2,750,000	0	0	2,750,000
退職給付費用	299,772	0	0	299,772
法定福利費	843,750	0	0	843,750
旅費交通費	2,050,000	170,000	0	2,220,000
通信運搬費	6,952,000	0	0	6,952,000
減価償却費	75,000	0	0	75,000
消耗什器備品費	300,000	0	0	300,000

消耗品費	1,905,000	0	0	1,905,000
直接印刷費	30,917,400	0	0	30,917,400
別刷印刷費	656,562	0	0	656,562
予稿集印刷費	3,450,000	0	0	3,450,000
光熱水料費	187,500	0	0	187,500
賃借料（家賃・その他）	1,375,000	0	0	1,375,000
保険料	7,500	0	0	7,500
謝金	8,528,300	0	0	8,528,300
租税公課	312,500	0	0	312,500
年会会場費	4,200,000	0	0	4,200,000
保育室運営経費	750,000	0	0	750,000
ジュニアセッション経費	1,180,000	0	0	1,180,000
天体発見賞等経費	1,200,000	0	0	1,200,000
公開講演会経費	2,286,000	0	0	2,286,000
普及物品制作費	70,000	0	0	70,000
衛星設計コンテスト経費	60,000	0	0	60,000
天文教育フォーラム経費	480,000	0	0	480,000
講師派遣プロジェクト経費	400,000	0	0	400,000
広報活動経費	500,000	0	0	500,000
男女共同参画事業経費	50,000	0	0	50,000
学術交流費経費	0	2,197,500	0	2,197,500
内地留学奨励金経費	0	250,000	0	250,000
研究奨励賞経費	0	1,100,000	0	1,100,000
早川幸男基金奨励賞経費	0	3,000,000	0	3,000,000
林忠四郎賞経費	0	1,300,000	0	1,300,000
雑費	1,130,000	122,000	0	1,252,000
<b>【管理費】</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13,244,848</b>	<b>13,244,848</b>
給与手当	0	0	5,312,500	5,312,500
退職給付費用	0	0	199,848	199,848
法定福利費	0	0	843,750	843,750
会議費	0	0	312,500	312,500
福利厚生費	0	0	20,000	20,000
旅費交通費	0	0	1,000,000	1,000,000
通信運搬費	0	0	360,000	360,000
減価償却費	0	0	50,000	50,000
消耗什器備品費	0	0	200,000	200,000
消耗品費	0	0	350,000	350,000
修繕費	0	0	30,000	30,000
印刷製本費	0	0	1,500,000	1,500,000
書籍購入費	0	0	6,250	6,250
光熱水料費	0	0	187,500	187,500
賃借料（家賃・その他）	0	0	1,375,000	1,375,000
保険料	0	0	7,500	7,500
謝金	0	0	250,000	250,000
租税公課	0	0	312,500	312,500
支払負担金	0	0	15,000	15,000
諸手数料	0	0	537,500	537,500
徴収不能額	0	0	125,000	125,000
雑費	0	0	250,000	250,000
<b>【経常費用計】</b>	<b>88,898,784</b>	<b>8,139,500</b>	<b>13,244,848</b>	<b>110,283,132</b>
<b>【当期経常増減額】</b>	<b>△ 15,193,134</b>	<b>△ 5,504,750</b>	<b>11,707,652</b>	<b>△ 8,990,232</b>
<b>【当期一般正味財産増減額】</b>	<b>△ 15,193,134</b>	<b>△ 5,504,750</b>	<b>11,707,652</b>	<b>△ 8,990,232</b>

2013年度事業別予算内訳表(案)  
2013年1月1日から2014年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計										法人会計	合 計	
	一般事業					助成事業							
	欧文事業	月報事業	年会事業	その他事業	共通	学術交流	内地留学	研究奨励賞	早川基金	林賞			公益目的事業合計
經常収益計	31,594,150	4,175,000	12,489,000	480,000	24,967,500	1,471,000	12,500	1,250	1,125,000	25,000	76,340,400	24,952,500	101,292,900
經常費用計	35,944,262	19,920,000	15,030,000	6,226,000	11,778,522	2,205,000	252,000	1,187,500	3,000,000	1,495,000	97,038,284	13,244,848	110,283,132
当期經常増減額	△ 4,350,112	△ 15,745,000	△ 2,541,000	△ 5,746,000	△ 13,188,978	△ 734,000	△ 239,500	△ 1,186,250	△ 1,875,000	△ 1,470,000	△ 20,697,884	△ 11,707,652	△ 8,990,232

## 第2号議案の説明

平成25年度予算案については、公益法人化にあわせて会計基準が変更になること、および15ヶ月予算を組んでいることで、従来とフォーマットおよび内容が大きく異なります。

まず会計基準ですが、公益社団法人化にともなって、平成20年公益法人会計基準(平成21年改正)に基づく損益ベースの予算となります。また同時に、これまでの一般会計と特別会計の区分ではなく、公益目的事業会計と法人会計との区分が必要となります。法人会計とは法人の管理費に相当するもので、個々の事業に明確に分けられない経費です。本予算案では、会費収入をこの二つの会計にそれぞれ50%ずつ収入として配分しています。

公益法人としては、「正味財産増減予算書」のみが正式な予算書となりますが、天文月報には、説明のため公益目的事業会計と法人会計の「収支予算書」も掲載しました。

先に「収支予算書」について説明します。予算期間が15カ月となるため、会費収入も通常年度の1.25倍をお願いしています。さらに増収策として、PASJの機関購読料を設定し、これによる購読料収入の増額を見込んでおります。一方、支出としては、会期が延びることによる自然増のほかに、年会が3回(春季2回、秋季1回)開催されますので、年会事業規模が1.5倍、春季年会時にのみ開催されるいくつかの事業については2倍の経費がかかることとなります。さらに細かなところでは、代議員総会(35名)の開催を行うため旅費交通費が増えます。

次に「正味財産増減予算書」について説明します。ここでは、公益目的事業会計をさらに一般事業(旧一般会計)と助成事業(旧特別会計)とに分けて示しています。これは、助成事業(表彰事業を含む)が独立採算で運用しているため予算書を見やすくするためです。旧予算書の一般会計に相当する経費は、公益目的事業会計の一般事業に法人会計を加えたものです。旧一般会計分だけで見ると約350万円の赤字予算となっております。これは、年度変更にともなって、一時的に事業経費が大きくなるのが主因です。さらに、事業ごとの収益および費用を示すために「事業別予算内訳表」も左側に掲載しましたのでご参照ください。

より詳細な積算根拠は、「正味財産増減予算書内訳表」によりますが、これは総会でご説明するほかに、日本天文学会事務所にて自由に閲覧できることを付け加えます。

(会計理事 松尾 宏, 田代 信)

### 【第3号議案】

#### 会長・副会長・理事・監事選考細則

(目的)

第1条 本細則は定款第17条に基づいて会長、副会長、理事、および監事の選考について必要な事項を定める。

(会長候補者の選出)

第2条 会長候補者は、正会員の間での選挙によって選ばれる。

(選挙管理委員会)

第3条 選挙管理は、代議員選挙施行細則に定める選挙管理委員会がこれを行う。

第4条 選挙権および被選挙権を有するものは公示の時点における正会員とする。ただし、会長経験者および日本天文学会理事長経験者は被選挙権をもたない。

(候補者の募集)

第5条 選挙に先だち選挙管理委員会は適当な時期に候補者を募集する。この場合正会員5名以上の推薦を必要とする。推薦に当っては、候補者本人の承諾書、および所信表明若しくは推薦書の添付が必要である。

第6条 推薦された候補者が1名の場合は、投票を行わず、選挙管理委員会は推薦された候補者を会長候補者とする。

(選挙の公示)

第7条 選挙管理委員会は投票締切日より30日以上前までに発行される学会誌上で公示を行い、25日以上前に推薦された候補者の氏名、所信表明若しくは推薦書等、および投票用紙を全有権者に発送する。

(投票)

第8条 投票は無記名単記で行う。候補者以外への投票は無効とする。得票数の最も多いものを、最大得票を得たものが複数ある場合は、そのうちの最年長者を、会長候補者とする。

(公表)

第9条 選挙管理委員会は選出された会長候補者を理事会、代議員に報告するとともに学会誌上に発表する。

(理事候補者)

第10条 会長候補者は、正会員の中から副会長候補者を含む理事候補者を選考し、自らとともに理事会に提案する。

第11条 理事会は、前条に基づいて提案された会長候補者、副会長候補者を含む理事候補者を取りま

め、代議員総会に提案する。

(監事候補者)

第12条 監事候補者は、正会員の中から監事が選考し、代議員総会に提案する。

(理事・監事の選任)

第13条 定款42条に基づき、代議員総会では、理事、また監事を選任する。

第14条 新たに組織された理事会は、ただちに理事の中から会長、副会長を選任する。

### 【第4号議案】

#### 役員の報酬および費用に関する細則

(目的)

第1条 この規則は、本会の定款第26条の規定に基づき、役員の報酬および費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この細則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 2 役員とは、理事および監事をいう。
- 3 報酬とは、公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号で定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益であって、その名称の如何を問わない。費用とは明確に区分されるものとする。
- 4 費用とは、職務の遂行に伴い発生する交通費、旅費(宿泊費を含む)、手数料等の経費をいう。報酬とは明確に区分されるものとする。

(報酬の支給)

第3条 本会は、常勤の役員に対して、その職務の対価として報酬を支給することができる。

(報酬の額の決定)

第4条 常勤の理事または監事に対する本会の報酬は、別表「常勤の役員の報酬」に定める額とする。

(費用の支払い方法)

第5条 本会は、役員がその職務の執行に当たって負担した費用については、別に定める規程に従い、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

(公表)

第6条 本会は、この規則をもって、公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項に定める報酬等の支給の基準として公表する

ものとする。

(補足)

第7条 この規則の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則 この規則は、公益認定を受け移行の登記を行った日から施行する。

別表 常勤の役員の報酬

月額 210,000 円とする。また、賞与は支給しない。

## 【第5号議案】

### 日本天文学会委員会等に関する細則

(目的)

第1条 この細則は、本会が設置する委員会のうち、代議員選挙施行細則によって定められる選挙管理委員会と推薦委員会を除くものについて定める。

(2条委員会)

第2条 本会の主要事業の円滑な運営のために、理事を委員長とする、以下の委員会を設置する。

1. 欧文研究報告編集委員会
2. 天文月報編集委員会
3. 年会実行委員会
4. 天文教育委員会
5. ネットワーク委員会

各委員会の構成と任務および運営についてはそれぞれの内規で定める。

(3条委員会)

第3条 研究の奨励、研究業績等の表彰および人材の育成に関連して、以下の委員会を設置する。

1. 林 忠四郎賞選考委員会
2. 研究奨励賞選考委員会
3. 研究奨励賞選考委員会
4. 早川幸男基金選考委員会
5. 内地留学奨学金選考委員会

また、新天体発見およびその他天文学の発展に貢献する天体観測活動等を表彰するために以下の委員会を設置する。

6. 天体発見賞選考委員会

各選考委員会の構成と目的および運営についてはそれぞれの内規で定める。

(4条委員会)

第4条 会長は、必要がある場合は、第2条および第3条で定めた委員会の他に、理事会の議決を経て委員会を設置することができる。各委員会についてはそれぞれの内規で定める。

(委員会の改廃)

第5条 第2条および第3条に基づいて設置された委員会の改廃には代議員総会の議決を必要とする。

第6条 会長は、第4条に基づいて設置された委員会の必要性がなくなった場合、理事会の議決に基づいてそれを廃止することができる。

(委員の資格)

第7条 委員は原則として本会正会員から選出する。

(委員の任命)

第8条 委員は理事会における議決を経て会長が任命する。会長はその結果を代議員総会に報告しなければならない。

(委員の任期)

第9条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。委員の改選は本会理事の改選と同時に進行。欠員の補充、もしくは、増員により選任された委員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

(委員の解任)

第10条 委員が次の各号の一に該当するときは、理事会の議決を経て会長がこれを解任することができる。この場合会長は理事会における議決を経てただちに後任委員を任命し、代議員総会に報告しなければならない。

- 2 心身の故障のため、委員会職務の執行に堪えないと認められるとき。
- 3 委員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

(委員会への委員以外の者の参加)

第11条 各委員会委員長は、必要と判断した場合、委員以外の者をオブザーバーとして委員会に参加させることができる。

## 【第6号議案】

### 会費に関する細則

(納入期限)

第1条 会費は、当該年度の4月末日までの間に支払うこと。ただし、入会するものについては入会時に支払うものとする。

(金額)

第2条 本会の会費は次の通り定める。

1. 正会員は年額18,000円。ただし当該年度の4月末日までに会費を納入する学生の場合、当該年度に学生として入会する場合、または、当該年度に準会員から正会員に移籍する学生の場合は、割引いて13,000円とする。
2. 準会員は年額8,000円
3. 団体会員は年額10,000円
4. 賛助会員は年額1口以上(1口30,000円)
5. 名誉会員は会費を納めることを要しない

(延滞手数料)

第3条 前条第1項および第2項に相当する会員で、期限を8カ月超過して、当該年度の1月1日以降に会費を納入する場合(定款第13条により、会員資格を喪失した場合を含む)は正会員については1,700円を、準会員については700円を延滞手数料として会費に加えて支払うものとする。ただし、当該年度途中に入会する場合、ならびに、当該年度の会費を既に支払った準会員が当該年度途中で正会員に移行移籍する場合は延滞手数料を支払う必要はない。

附則:

1. 本細則は平成26年度の会費より適用する。
2. 平成25年度については、会計年度変更に伴い、第2条に定める会費の15/12を1月1日から3月末日までの間に支払う。
3. 平成25年度については、第3条で定める延滞手数料は平成25年度の12月1日以降に発生する。その額は正会員については2,100円、準会員については900円とする。
4. 平成25年度については、第2条1.に定める学生の割り引きに対する会費納入期限については3月末日とする。ただし、学生として入会する場合、または準会員から正会員に移行する学生の場合は、4月以降の納入についても割り引きを適用する。

## 【第7号議案】

### 評議員選挙施行細則

廃止

## 【第8号議案】

### 理事長選挙施行細則

廃止

## 【第9号議案】

### 天体発見賞に関する細則

廃止し、以下の内規を制定

### 日本天文学会天体発見賞内規

(目的)

第1条 本会は新天体の発見が天文学の発展に寄与するところが大きいとの認識にたつて、これらの活動を奨励するために天体発見賞、天体発見功労賞を設ける。

(対象)

第2条 新天体とは原則として、新星、超新星、慧星とする。

2. 天体発見賞は新天体を最初に発見し、速やかに報告した日本在住者または日本国籍を有する者に贈る。
3. 新天体の第一発見者ではないが、独立に当該天体を発見し報告した者へ天体発見功労賞を贈ることがある。

(賞)

第3条 本賞は天体発見賞においては賞状とメダル、天体発見功労賞においては賞状とする。又副賞を併せて贈ることがある。

(選考委員会)

第4条 本賞の受賞者を代議員総会に推薦するために天体発見賞選考委員会を置く。

2. 会長は正会員より委員長1名を、また会員から若干名の委員を任命する。

(決定)

第5条 選考委員会は受賞候補者を選考し、委員長が代議員総会に報告する。代議員総会は、選考委員会の推薦を尊重して、本賞の受賞者を決定する。

**【報告1】**

代議員選挙結果

**【報告2】**

会長候補者選挙結果

**【報告3】**

次期役員・委員候補者

(任期：2013年度～2014年度，敬称略)

## 1) 理事

会長：(未定：選挙により選出)

副会長：(未定：選挙後，会長候補者が指名)

庶務理事：中村文隆，本原顕太郎

会計理事：熊谷(藤井)紫麻見，松尾 宏

PASJ理事：茂山俊和

月報理事：青木和光

年会実行理事：宮田隆志

天文教育理事：山岡 均

年会開催地理事：田代 信(埼玉大)，山田 亨(東北大)，石丸友里(ICU)，滝沢元和(山形大)，林田 清(大阪大)

## 2) 監事

尾中 敬，郷田直輝

## 3) 欧文研究報告編集顧問：10名

大橋隆哉(幹事)，有本信雄，梅村雅之，中井直正，堂谷忠靖，柴橋博資，蜂巢 泉，花岡庸一郎，福井康雄，嶺重 慎

## 4) 欧文研究報告編集委員会：16名

茂山俊和(編集長)，秋山正幸，川端弘治，久野成夫，鈴木 建，鈴木英之，田代 信，坪井昌人，戸谷友則，永田伸一，野上大作，花見仁史，比田井昌英，松下恭子，Yu Gao，Hyung Mok Lee

## 5) 天文月報編集委員会：11名

青木和光(編集長)，大栗真宗，富永 望，町田正博，馬場 彩，平松正顕，吉田二美，市来浄與，勝川行雄，廣田朋也，前野将太

## 6) 年会実行委員会：10名

宮田隆志(委員長)，久保雅仁，左近 樹，田中邦彦，土居明宏，峰崎岳夫，寺田幸功，佐藤文衛，鈴木知治，中道晶香

## 7) 天文教育委員会：9名

山岡均(委員長)，綾仁一哉，安藤享平，大朝由美子，篠原秀雄，大西浩次，大山真満，石井貴子，矢治健太郎

## 8) 選挙管理委員会：5名

田中培生(委員長)，中島 紀，工藤哲洋，矢野太平，酒向重行

## 9) 林 忠四郎賞選考委員会(欧文研究報告論文賞を含む)：6名

中井直正(委員長)，常田佐久，牧島一夫，須藤靖，嶺重 慎，(新会長)

## 10) 研究奨励賞選考委員会：6名

北本俊二(委員長)，千葉柁司，関井 隆，山下卓也，坪井昌人，中本泰史

## 11) 天体発見賞選考委員会(天文功労賞を含む)：6名

綾仁一哉(委員長)，石田俊人，河北秀世，阿部新助，野上大作，遠藤勇夫

## 12) 内地留学奨学金選考委員会：6名

松村雅文(委員長)，関口朋彦，吉岡一男，濤崎智佳，野上大作，清田誠一郎

## 13) 早川幸男基金選考委員会：5名

大西利和(委員長)，青木和光，須佐 元，深沢泰司，横山央明

## 14) ネットワーク委員会：2名

中村文隆(委員長)，鈴木知治

## 15) 天文教材委員会：7名

尾久土正己(委員長)，三島和久，有本淳一，前田良知，船越浩海，秋山演亮，西浦慎悟

## 16) ジュニアセッション実行委員会：6名

大西浩次(委員長)，石川直美，篠原秀雄，鈴木文二，畠 浩二，山岡 均

## 17) 男女共同参画委員会：7名

林 左絵子(委員長)，木村かおる，田代 信，富田晃彦，望月 優子，岡 朋治，久保田あや

## 18) 衛星設計コンテスト推進委員会：4名

(新会長：委員長)，坂尾太郎，谷津陽一，井上 一

**【報告4】**

公益法人への移行作業について

**【報告5】**

日本学術会議報告

**【報告6】**

宇宙開発利用の新体制について

**【報告7】**

IAU報告

**【報告8】**

その他

## 2012年度日本天文学会 林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2012年11月9日(金)(必着)です。下に述べるそれぞれの要領にしたがって記入した推薦書を、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の通常総会(これに代わる会など)にて行う予定です。

### 2012年度(第17回)林 忠四郎賞推薦要

この賞は、林 忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

分野等: 広い意味での天文学(天体物理学, 宇宙物理学, 他の関連テーマも含む)における独創的でかつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数: 原則として各年に1件。

賞状等: 本賞として賞状, 副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)。

推薦書の形式: 表題は「2012年度林 忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズ用の用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者, 連名授賞可)について: 氏名(ふりがな), 生年月日, 大学卒業年, 現職および連絡先(電話, Fax, e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として, 推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

### 2012年度(第17回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan (PASJ)に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等: 原則として過去5年以内にPublications of the Astronomical Society of Japanに出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の筆者(共著の場合はすべての各共筆者)に授与する。

授賞件数等: 原則として1年に2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式: 表題は「2012年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について: 論文題目, 筆頭筆者名, 出版された巻, ページ, 発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職・連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) e-mailで応募する場合はjimuj@asj.or.jp宛に出して、受領した返事を必ずもらってください。

### 2012年度研究奨励賞(第24回)受賞候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日(本年度は2012年1月1日)で35歳以下の者であって、毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せ授与しています。本年度の受賞候補者の推薦を以下の要領でお願いします。

- (1) 締切: 2012年11月9日(金)必着
- (2) 提出書類: ○候補者氏名, 現職, 生年月日, ○授賞対象とする研究の表題(英語表記も), ○推薦者の氏名, 現職, 連絡先, ○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2~3枚程度の本文), ○関連論文リスト, ○推薦に関連して最

も重要な論文のコピー（3編以内）

(3) 提出先:

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では、推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を評議員会（あるいはこれに代わる委員会等）に推薦します。

**2012年度（第12回）天文功労賞候補者推薦のお願い**

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を評議員会（あるいはこれに代わる委員会等）に推薦します。

天文学会の会員の方々からの候補者（団体）推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、功績名（1行程度）、功績の説明を書いたいただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp）にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2012年12月31日までにお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

(社)日本天文学会へ2012年2月18日～2012年7月20日に入会された方、移籍された方、退会された方をお知らせします。

**正会員入会（64名）**

森下貴弘	東北大・大学院理（在学）	藤賀志央里	大阪府立大・大学院理（在学）
工藤祐己	千葉大・大学院理（在学）	岩井一正	国立天文台・野辺山
泉 拓磨	東京大・大学院理（在学）	Siddiqua, Portia	筑波大・大学院数理物質科学（在学）
高橋 亘	東京大・大学院理（在学）	世古明史	京都大・大学院理（在学）
石本大貴	京都大・大学院理（在学）	竹内智恵	京都大・大学院理（在学）
阿部祐平	北海道大・大学院理（在学）	近藤秀作	名古屋大・大学院理・太陽地球環境研究所（在学）
橋場康人	東京大・大学院理（在学）	堂ヶ崎知誠	明星大・大学院理工（在学）
高山正輝	東北大・大学院理（在学）	大北晨平	東京大・大学院理（在学）
徳田一起	大阪府立大・大学院理（在学）	松澤 歩	総研大・物理（在学）
山下和之	山梨大・教育人間科学	菅谷元典	筑波大・大学院数理物質科学（在学）
和田師也	東京大・大学院理（在学）	菅原寿元	筑波大・大学院数理物質科学（在学）
馬路博之	大阪府立大・大学院理（在学）	小野寺 唯	筑波大・大学院数理物質科学（在学）
金子岳史	東京大・大学院理（在学）	長谷川 豊	大阪府立大・大学院理（在学）
前田和成	鹿児島大・理・物理	村上浩章	東京大・大学院理（在学）
田中智博	大阪府立大・大学院理（在学）		

後藤亮介	東京大・大学院理 (在学)	田代貴美	北海道大・大学院理 (在学)
飯野瑛里子	大阪教育大・大学院教育 (在学)	小林翔悟	東京大・大学院理 (在学)
森光智千	東京大・大学院理 (在学)	藤田 翔	京都大・大学院理 (在学)
原 千穂美	東京大・大学院理/国立天文台 (在学)	黒田祐司	名古屋大・大学院理 (在学)
大山祥彦	総研大・高エネルギー加速器科学研究科 (在学)	松尾光洋	鹿児島大・大学院理工 (在学)
斉藤俊貴	東京大・大学院理/国立天文台 (在学)	國久哲平	金沢大・大学院自然科学 (在学)
藤田智弘	東京大・大学院理 (在学)	佐藤裕史	東京大・大学院理 (在学)
表 尚平	東京大・大学院理 (在学)	舟橋史祥	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
大島吾一	埼玉大・大学院教育 (在学)	五十嵐朱夏	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
Xue Yuxin	東京大・大学院理 (在学)	鈴木大輝	総研大・物理科学 (在学)
須藤大地	東京大・大学院理 (在学)	高橋卓也	京都大・大学院理 (在学)
藤本裕輔	北海道大・大学院理 (在学)	高津 湊	大阪府立大・大学院理 (在学)
瀬川陽子	北海道大・大学院理 (在学)	柴田 雄	東京大・大学院理 (在学)
武内陽子	東京理科大・大学院理/理化学研究所 (在学)	安井一樹	京都大・大学院理 (在学)
小林 弘	大阪教育大・大学院教育 (在学)	谷津陽一	東京工業大・理工・基礎物理学
濱野哲史	東京大・大学院理 (在学)	楠根貴成	名古屋市立大・大学院システム自然科学 (在学)
原 拓自	東京大・大学院理/国立天文台 (在学)	前田和宏	東京大・大学院理 (在学)
		小松 勇	筑波大・数理物質科学 (在学)

### 準会員入会 (37名)

藤由嘉昭	東京都調布市在住	はしもと じょーじ	岡山大・自然科学
柳 由里子	東京都新宿区在住	塚本裕介	名古屋大・大学院理
森田達也	パナソニック(株)	石井彩子	東北大・大学院工 (在学)
櫻井 守	愛知県知多郡東浦町在住	福岡隆敏	京都大・大学院理 (在学)
Kuncarayakti Hanindyo	東京大・大学院理 (在学) ※6/8付で正へ移籍	中村 竜	広島大・大学院理 (在学)
奥野康二	千葉県流山市在住	上野一誠	広島大・大学院理 (在学)
鐵 紘由紀	東京工業大・大学院理工 (在学)	河野貴文	広島大・大学院理 (在学)
沖田純花	関西外国語短大 (在学)	浦野剛志	広島大・大学院理 (在学)
平野 賢	(株)エイ・イー・エス	徳田伸矢	広島大・大学院理 (在学)
八隅真人	京都大・大学院理 (在学)	岡村奈津子	東京大・大学院新領域創成科学 (在学)
菅原隆介	京都大・大学院理 (在学)	笠置翔太	大分大・大学院教育 (在学)
岸 茜	神奈川県相模原市在住	中川崇之	広島大・大学院理 (在学)
木村 修	東京都小金井市在住	安東正樹	国立天文台
望月ゆきこ	東京理科大・大学院理 (在学)	松村行博	放送大学
高橋 護	(株)トプコン	藤井俊博	大阪市立大・大学院理 (在学)
井上 毅	明石市立天文科学館	山口晃弘	山形県東村山郡中山町在住
田邊利明	広島大・大学院理 (在学)	末永哲也	NTTコムウェア(株)
高木勝俊	広島大・大学院理 (在学)	大嶋新一	(独)産業技術総合研究所
		高橋弘毅	山梨英和大・人間科学

### 賛助会員入会 (1社)

(株)光学技研 (神奈川県厚木市)

### 移籍会員

[準→正] (2名)

Kuncarayakti Hanindyo	東京大・大学院理 (在学)	楠野こず枝	総研大 (在学)
-----------------------	---------------	-------	----------

**2012年度復会（1名）**

榎戸輝揚（正会員）

**正会員退会（13名）**菅谷多都子 須田和男 竹内 峯 吉川一雄 小田進幸 富松 彰 榎本雄太 西阪飛鳥  
磯 直樹 小菅 渉 金井義和 森田耕一郎 大野英美**準会員退会（7名）**

能登谷 瞬 西本賢太 土屋晴文 山崎智紀 木村 孝 北村正利 三ツ間重男

**賛助会員退会（1社）**

国際航業(株)

**訃 報**

北村正利氏（元 副理事長）が2012年7月13日にご逝去されました（享年86歳）。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**訂 正**

天文月報2012年（第105巻）8月号505ページ右側下から8行の氏名に間違いがありました。  
お詫びして訂正させていただきます。

誤) Nick Whyborn 博士 → 正) Denis Barkats 博士

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2013年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。表紙は、題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。

（天文月報のホームページのバックナンバー（<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>）に表紙画像があります。）

応募される方は、新設の天文月報投稿用アップローダーまで、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ（182ミリ×257ミリ）です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。また、採用者をご紹介いただいた会員の方には粗品を差し上げます。

締切り：2012年9月末日

送り先：天文月報編集委員会

以下の天文月報投稿用アップローダーまで

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou    passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めてください。するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。1回あたり全部で最大20 Mbyteまで送信できます。（それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください）。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。その場合は従来どおり、[toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は [yousuke.utsumi@nao.ac.jp](mailto:yousuke.utsumi@nao.ac.jp) まで、またその他のご質問は [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) までお願いします。

柏川伸成（天文月報編集長）

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

柏川伸成（編集長）、市来浄興、勝川行雄、鈴木 建、徂徠和夫、竹井 洋、野田寛大、浜名 崇、廣田朋也、前野将太、山崎 了

平成24年8月20日      発行人    〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内    社団法人 日本天文学会

印刷発行              印刷所    〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8                              株式会社 国際文献印刷社

定価700円（本体667円） 発行所    〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内    社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会2012年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）